国指定白神山地鳥獣保護区の指定に関する 指針案の公告縦覧の実施結果について

1 意見募集方法の概要

(1) 意見募集の周知方法

- ・意見募集を行う鳥獣保護区の指定に関する指針案を環境省ホームページに掲載
- ・資料の配付

(2) 資料の入手方法

環境省自然環境局野生生物課、東北地区自然保護事務所及び同青森支所、青森県環境生活部自然保護課、鱒ヶ沢町農林課、深浦町農林課、岩崎村産業観光課及び西目屋村建設課並びに秋田県生活環境文化部自然保護課及び藤里町事業課で閲覧可能。希望があれば、環境省自然環境局野生生物課より郵送。

(3) 意見提出期間

平成15年10月30日から11月12日まで（14日間）

(4) 意見提出方法

郵送、FAX又は電子メール

(5) 意見提出先

環境省自然環境局野生生物課

2 意見募集の結果

・電子メールによるもの	0通
・郵送によるもの	0通
・FAXによるもの	16通
合計	16通

3 整理した意見総数

・保護に関する指針（案）に係るもの	6件
・その他	1件

国指定白神山地鳥獣保護区指定に関する 指針案の公告縦覧の実施結果

ご 意 見	対 応 方 針
<p>【区域について】 区域の設定について、地元への説明が不十分ではないか。</p>	<p>指定にかかる地元説明会については、平成15年3月12日に西目屋村の白神山地世界遺産センター、13日藤里町の世界遺産センターにおいて開催しました。この説明会には、県、町村の担当者及び地元猟友会の方々が出席されました。</p> <p>今回いただいたご意見を踏まえ、今後とも、地元の方々への説明が十分に行き渡るよう努めたいと考えています。</p>
<p>【存続期間について】 なぜ、今指定するのか。</p>	<p>白神山地における鳥獣保護施策については、これまで検討課題とされてきたもので、各種調査の結果や地元関係者の意見調整を踏まえ、今回、指定を予定することになったものです。</p>
<p>【管理について】 地元住民が長年かかって築いてきた「またぎ文化」が保護区指定によりなくなる。 狩猟による生活の糧が奪われる。</p>	<p>白神山地は広大な面積（約13万ha）がひろがっており、今回鳥獣保護区を指定する区域は1万7千haであり白神山地の一部です。</p> <p>また、この区域は、狩猟の捕獲実績報告等を踏まえ、地域固有の文化にも配慮しつつ選定したものです。</p>
<p>保護区指定による地元のメリットは何か。</p>	<p>また、保護区内の多種多様な鳥獣が保護されることにより、保護区及びその周辺の自然環境の質が向上することが、地元のメリットにつながるものと考えています。</p>
<p>狩猟の影響より周りの開発の方が影響がある。 (白神ラインの拡張、のり面のコンクリート化)</p>	<p>周辺の開発等については、関係機関と調整を図りながら、必要に応じて事業者に配慮を促して参りたいと考えています。</p>
<p>【その他】 地元住民を排除することには反対である。</p>	<p>ご意見の趣旨が必ずしも明らかではないですが、鳥獣保護区指定による新たな規制は狩猟の原則禁止であり、入山など他の利用を規制するものではありません。</p>